

バラ祭 開催

7つのアーチで歓迎

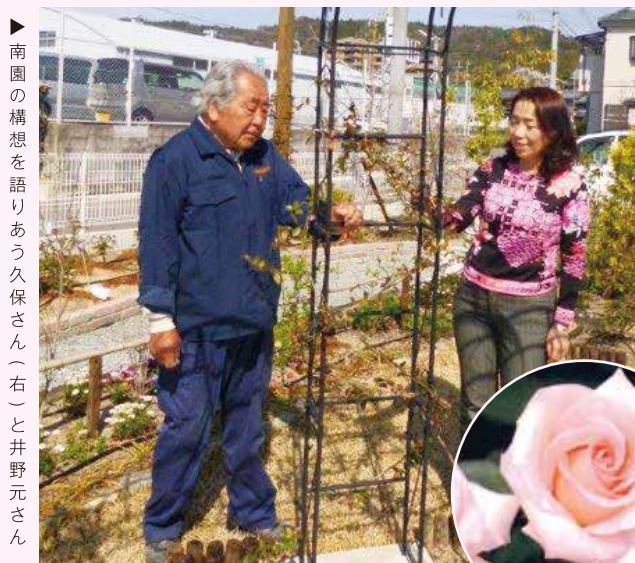
粟生外院

おしゃれな庭として知られている「粟生外院バラ園」(粟生外院 2) にこのほど南園も完成し、南北合わせて 660 m²の庭園にはピンク、黄、赤など色とりどりのバラ約 60 種、210 株が咲き揃っています。**5月17日(土)、18日(日)の第1回「粟生外院バラ祭」**を前に、所有者でフラワーデザイナーの久保ノリ子さんは「南北合わせて7つのアーチで歓迎します」と喜びを語っています。



60 種、210 株咲き揃う

閑静な住宅街にあるバラ園は、これまで北園 260 m²だけでしたが、去年からこの春にかけ、約 70m 南にも 400 m²ほどの新庭園が完成しました。久保さんの描いた英国風庭園のデザインに基づいて宝塚の園芸家、井野元敏さん(76) が 5 年前から一株ずつ精魂込めて植えてきました。バラ約 60 品種のなかには井野元さんが交配をかさねて独自に開発したピンクの「花嫁」、紅茶色の「ザ・ブラックティ」、黄色の「光華」も含まれています。また南園は美しさが世界中で認められている「殿堂のバラ」※を中心にデザインされているそうです。

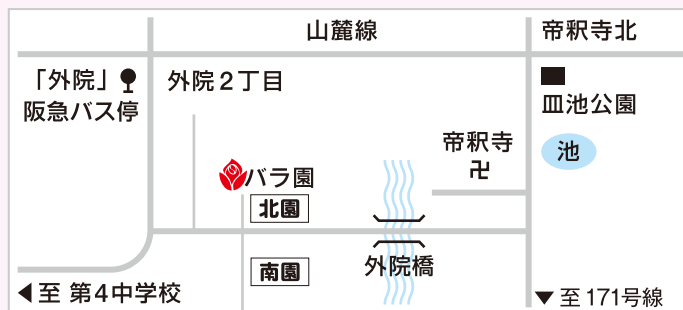


▶ 南園の構想を語りあう久保さん(右)と井野元さん



「花嫁」▶

※殿堂のバラ：世界バラ会議で選定された「世界中で愛されている名花」ピース、イングリッド・バーグマン、アイスバーグ、クイーン・エリザベスなど15品種。



△ 粟生外院2丁目 11 のバラ園＝

阪急バス：山麓線「外院」下車 南へ5分・国道 171 号「新家」下車 北へ 10 分

久保さん 夢かなう

「同じピンクでも「花嫁」はとても優しい色がかもしだされています。ご近所の方が散歩したくなるようなお庭を作るのが夢でした」と話す久保さん。繊細な久保さんのセンスと、井野元さんのこだわりが絶妙にコラボされたバラ園です。バラ以外にも水仙、ピオラ、パンジー、ナデシコ、芝桜など様々な花が咲きそろい、甘い香りがただよい始めています。

🌹「粟生外院バラ祭」は**5月17日(土)、18日(日)**両日とも午前10時から午後4時まで(小雨の場合は実施)。相談コーナー(午後1時～3時)では井野元さんが花壇づくりのコツや肥料のやり方、花を摘むタイミングまでこと細かに教えてくれるそうです。



花とみどりの街角表彰
第1回市長賞
如意谷住宅フラワー公園

現在のフラワー公園

箕面市は、街なかに花とみどりをふやし潤いある都市景観を作ろうと平成15年度から5年間、「花とみどりの街角表彰」を実施しました。表彰された公園や庭は今どうなっているのでしょうか。シリーズで「その後」をお届けします。

今回は第1回市長賞に輝いた「如意谷住宅フラワー公園」を訪ねました。この公園は40年ほど前から住民有志が会費を出しあいサクラやキンモクセイ、ツツジなどを植樹したのが始まり。15年前の平成11年からはフラワー公園2800㎡と、高台のさくら広場2640㎡を同時開墾し、1年後に開園にこぎつけました。

フラワー公園にはチューリップ、ハナミズキ、スイセン、パンジー、クリスマスローズなどが植えられており、一年中、花を楽しめます。

平成15年の市長賞に続き翌16年には大阪府知事賞にも輝き、さくら広場も市の奨励賞を受賞しました。その後も如意谷住宅管理組合が中心となって「ハナミズキ・チューリップ公園」(平成16年)をつくったり「けやき公園」をリニューアルさせています。

当時から先頭に立って花壇づくりや植樹を進めてきた垣田彦太郎さん(76)は「どの棟からも季節の移ろいがわかるように花の位置を工夫しており、1本1本に住民の思いがこもっています。悩み? 高齢化して世話する人が減ってきていることです」という。

今年も4月1日から10日間、夜桜が行われ、およそ1500人が楽しんだそうです。「その表情を見ていると苦労も吹っ飛びますけどね」とも付け加えていました。



▲受賞当時のフラワー公園

第2回奨励賞 如意谷さくら広場



現在のさくら広場

情報プランター

「NPO 花とみどりの街づくり」が、市民ニーズに向けGO!

「NPO法人花とみどりの街づくり・箕面」がこの3月に正式に法人格を取得し、かやの中央のみのお市民活動センター内に事務所を開き専従者をおくなど体制を整え、「まちなかのみどり」のコーディネート組織(世話役組織)として本格的な活動を始めました。

同NPOは、既にこの2年間に「みのお園芸ファーム」「みどりの街しんぶん編集委員会」「花とみどりの学校運営委員会」「栗生外院バラ祭実行委員会」などの実行組織を次々と生み出すなど、箕面の街を花とみどりで魅力アップするための土台づくりを進めています。

代表理事の五藤正紀さんは、「箕面市や事業者と連携しながら、市民ニーズに応じて段階的に活動を強めていく」と話しています。



箕面・花とみどりの学校



9月開校 種まきから寄せ植えまで

講座と実習 生徒募集中

10回の講習と実技訓練で園芸の基本から花壇のデザインまでを楽しみながら習得できる「箕面・花とみどりの学校」がいよいよ9月に開校します。このほどその概要が決まり、生徒募集を始めました。

この学校は箕面市の「まちなかのみどり支援事業」の助成を受けて開校するもので、高校生以上の市民や市内で活動できる人ならだれでも参加できます。かやの中央の市民活動センターや古井戸公園で別表のようにタネから花を咲かせるコツや花壇づくり、寄せ植え体験などを原則毎月1回の講習と実習(セット)で受講、来年7月に修了します(受講日は未定)。「みのお園芸ファーム」代表の上田芳弘さんら緑花づくりの実践家やグリーンアドバイザーが指導にあたったり、講師をつとめたりします。受講料は10回で2,000円。花とみどりの新鮮な感動を味わってみませんか。



こんな街並みをめぐります

第5回 花とみどりの街めぐり参加者募集!

※ 小野原西地域のお宅のお庭を眺めながらの街歩き!

2014年6月7日(土) ※小雨決行
午後2時集合! 「箕面墓地公園南」停留所付近
オレンジゆずるバス 黄ルート(東行き)13:50着
(小野原豊中線)

午後2時~3時半頃解散

〈お問合せ先〉090-5651-0259(佐藤)



《園芸 基礎コース》カリキュラム(骨子/予定)

2014年9月~2015年7月(原則として、土曜日の午後1時半~4時半)

開催月	講義 【約1時間半/室内】	実習 【約1時間/野外など】
9月	入学式・説明 など "花とみどり"のお庭づくり・街づくり	秋のタネまきをやってみよう
10月	いろんなお花の育ち方 一年草・多年草・球根	花壇を手入れしよう
11月	お花の健康 栄養(肥料)と土づくり	球根を植えよう!
12月	お花ごとの育て方 お花の種類と気温・日照・水やり	クリスマスやお正月の飾りづくり byお花
1月	お花の咲く木・実のなる木の育て方 花木・果樹	冬の肥料をやろう
2月	お花を美しく咲かせるコツ お花の手入れ・増やし方	花壇づくりの準備をしよう
3月	お花を守る 雑草・病気・虫	花壇づくり一本番!
4月	お花栽培のデザイン 草花の魅力をアップ	春のタネまきをやってみよう
5月	お花のオープン・ツアー(公開) 行き先は入学後にみながら相談	
6月	テーマガーデンのいろいろ	"寄せ植え"の体験
7月	1年を振り返ろう	修了式 / 懇親会

※ 講義・実習の会場は、箕面市かやの中央地区付近を予定。
※ 講義と実習の間に、「移動・休憩」をはさむ。
※ 授業料=年間2,000円+材料費(必要な場合)
オープンツアーは別料金(自由参加)

入校を希望する方は
「NPO 花とみどりの街づくり・箕面」
☎ 090-4901-6693 または FAX 072-722-2981
(重本)まで

「花壇をつくろう会」会員募集中

上平公園(西宿2)の南側広場で四季折々の花やハーブ、薬草などを育てる「花壇をつくろう会」が5月上旬に発足、会員を募集しています。

月1回例会を開き年会費1,000円。将来は花壇づくりのあと育てたハーブ茶で憩うことも計画しているそうです。

希望者は同会の二宗忠美代表まで
(090-1447-7030)

みどりの掲示板

ため池を未来へ 引き継ごう！



フォーラム 景観

市民・水利組合員 熱気あふれる討論

市内には 100 近いため池がありますが、その現状と課題を理解しようと 3 月中旬に「暮らしの景観研究会」（川端常樹代表）がフォーラムを開催し、約80名の参加者が地域の「宝」であるため池をどう未来に引き継ぐか話し合いました。市内の主なため池の紹介、水利組合から見たため池の役割と管理のお話しに続いて大阪府立大学の加我宏之先生から堺市で市民、行政、大学が協働してため池を再生した事例説明がありました。最後に市民や市役所の担当課長も加わって討論し、市民からは「市民として手伝えることはたくさんあるので行政が市民や水利組合の意見を聞いてプランニングを進めてほしい」との意見も出され、市民、水利組合、行政が協働してため池を本来の利水機能に加えて親水空間、景観資源として次世代に引き継ごうということになりました。

また同時にメイプルホールのロビーでため池写真展が開催され、8 日間で約 600 名の市民が熱心に見ていました。



小学生も参加して 「めんぎょの花見」



今年も「めんぎょの花見」が薩摩池（石丸 3）のほとりて 4月12 日、にぎやかに行われました。めんぎょは「免業」に由来するとも言われており、以前は農作業を休み村総出で花見を楽しんだそうです。

この日は近くの小学生約 40 人も山の清掃を兼ねて参加し、野遊びや宝探しを楽しんでいました。一般の参加者もふるまわれた豚汁で弁当を開いたり、缶ビールを傾けていました。

花びらも 箸で摘まん いざメンギョ
（高野日出夫さん著「箕面山麓」より）



Column

ひろめたい箕面の民話

先日「箕面の昔ばなし」を聞かせてくれる集いがありました。主宰者は「箕面むかし歳時記」などの著者、熊野禮助さん（86）。熊野さんが直接聞いた話や古文書を調



べてコツコツ集めた昔話を山本みち代さんが朗読したり、柿本香苗さんが紙芝居に仕立てて披露してくれました。

そのひとつが「守り隠れさん」。江戸時代、粟生新家のお百姓さんが厳しい年貢の取り立てに耐えかねて、代官所に軽減してほしいと願い出るのですが、逆に一揆を企てたとして一族もろとも打ち首に。赤子とて容赦しないと知った近所の娘がとっさにそのお百姓の赤子を抱いて逃げました。お墓の隅に隠れていましたが、ついに見つかり赤子ともども斬殺されるという悲しいお話です。

粟生地区では、昔そんなやさしい娘がこの村にいたんだよ、と代々そつと言ひ伝えてきたのでしょうか。粟生新家に「墓の谷」という地名が残っており、古いお墓が緑に囲まれてひっそりと並んでいます、その墓地がぐんと身近に感じました。このほか「箕面の滝の月」や阿比太神社の鳥居にまつわる「ものぐさ九郎兵衛」など楽しい話も披露されました。民話は暮らしや豊かなみどり、自然の営みなどに由来するものが多く、今の子ども達にこそもっと広められないものかと痛感しました。

サポーター 大募集!!

「みどりの街しんぶん」は、花とみどりあふれる箕面にしようと、年3回発行しています。近くにこんなきれいな花が咲いているよ、緑のすてきなスポットがあるよ、などの情報をどんどんお寄せください。

情報ご連絡先 shimin.puroj.midori@gmail.com 090-5651-0259（佐藤まで）

